

世界ヒバクシャ展
6人の写真家が撮ったいのち



森下一徹
被爆者：富永初子



伊藤孝司
韓国のヒロシマ



桐生広人
核廃棄物海洋投棄



豊崎博光
故郷を捨てる



本橋成一
こんにちは



森住卓
計りきれない将来への不安

写真パネル貸し出し中

日本のプールの関係者、後列中央がイ・テスさん



キリスト教会の
世界大会で展示
WCC釜山大会



台湾から参加したユースグループ

二〇一三年十月三十日から十一月八日まで、韓国の釜山で開催された、世界教会協議会(WCC)総会で、写真展示を行いました。七年に一回開かれるこの大会には、百を超す国・地域からキリスト教関係者などが参加しました。展示を通じて、様々なつながりができ、自国での写真展開催を希望される方もいました。期間中、釜山市役所でも写真展を行いました。WCCでの写真展は、韓国のアジア平和市民ネットのイ・テスさんの尽力で実現しました。



陝川に韓国全土から集まった子どもたち

陝川での写真展の
すてきなボスター



森下美歩が韓国を訪れ、「韓国のヒロシマ」と呼ばれる陝川(ハプチヨン)など四都市で、写真展を開催しました。最初の開催地、陝川は、戦後、故郷に帰った韓国人被爆者が多数住んでおり、韓国赤十字陝川被爆者福祉会館では毎年八月六日に追悼式が行われています。

この式典で、森下は日本の統治時代に韓国の人々に様々な迷惑をかけたことへのおわびを伝え、韓国の被爆2世患友の慰いの家「陝川・平和の家」、韓国原爆被害者協会・陝川支部、陝川被爆者福祉会館などの協力の下、同福祉会館で写真展を行いました。

光州では、光州環境運動連合による福島の高校生と光州の高校生の合同キャンプの参加者や市民を対象に、同連合後援の写真展を開催しました。続くソウルでは、クリスチャンと韓国原爆被害者協会本部の協力で、ソウル市民を対象にした写真展を行いました。最後の訪問地、大邱(テグ)では、大邱KYC(韓国青年連合大邱支部)が毎年広島市の被爆団体と協力して開催している「原爆写真展」に世界ヒバクシャ展も参加しました。

大邱では地下鉄につながる地下街で写真展

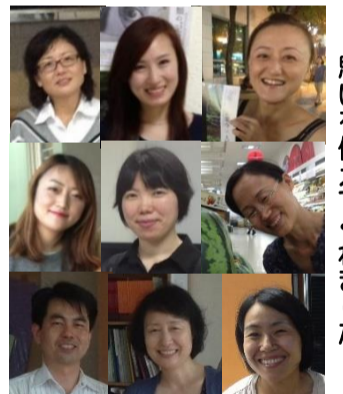


今回の写真展は、写真家の伊藤孝司さんと韓国在住の岡田卓己さんの働きかけで実現しました



食を通じて
日韓交流

韓国では行く先々で地元の方々に歓迎され、毎日ごちそうでした。どれもおいしかった！写真⑤ 日本の植民地支配時代のなごり、青唐辛子入り塩おでん。写真⑥ 韓国では、メイン料理を頼むと、キムチや野菜類はおかわり自由。



各都市で様々な方が、通訳、翻訳でヒバクシャの思いを伝えてくれました

被爆者追悼式でおわび
温かかった韓国のお年寄り



アリランの調べで被爆者を追悼



写真展で、日本語がなつかしいと話しかけてくれたおばあさん

私は、日本が過去の歴史で迷惑をかけてきたアジアの人たちにおわびをしたい、と幼いころから思っていました。世界ヒバクシャ展を開催するに当たっても「おわびから始めたい」と思っています。

を伝えると、韓国のお年寄りたちからは「私たちは日本との平和を望んでいる」「(原爆事故で被災した)日本のためにできることは何かないか?」と、やさしさに満ちた声をかけてもらいました。

昨年、世界ヒバクシャ展を開催した韓国でも、朝鮮半島の多くの方々に悲惨な体験をさせてしまった歴史へのおわびをしてきました。韓国のヒロシマと呼ばれる陝川での被爆者の追悼式や各地の写真展でおわびを伝えると、韓国のお年寄りたちからは「私たちは日本との平和を望んでいる」「(原爆事故で被災した)日本のためにできることは何かないか?」と、やさしさに満ちた声をかけてもらいました。

また、光州では、保養に来ていた福島の子もたちが写真展に来てくれました。泣いさせてくれた高橋生「悲しい思いをさせてくれたね」と声をかけると「こんな遠くで自分の故郷のことを伝えてもらっているのがうれしいんです」という答えが返ってきました。この子たちは、世界の困っている人たちを助けるために働きたい、とも語っていました。

韓国で多くのすばらしい人に出会い、朝鮮半島の人たちや日本人の間で、本当の意味での「和解」が生まれる日のために、私たちができることをしていきたいと改めて思いました。韓国での写真展では、韓国や北朝鮮の人たちが被爆していることを知らない人が多いことに驚き、世界ヒバクシャ展をもっと各地で開催したいと思いました。韓国だけでなく、中国、香港など他のアジアの国々での写真展の開催実現に向けても努力していきます。(NPO法人世界ヒバクシャ展代表 森下美歩)

世界ヒバクシャ展

世界にこんなにヒバクシャがいたなんて！
世界ヒバクシャ展をご覧になった多くの方が驚かれます。

写真紹介DVD鑑賞

世界ヒバクシャ展理事で歌手・俳優の上條恒彦さん=写真=のナレーションで世界ヒバクシャ展の写真を紹介し、世界に核被害が広がった歴史を簡潔に伝える「広島、長崎…そして福島」のDVD(12分、写真28枚紹介)を貸し出しています。英語版もあります。
☆貸出料金 1万円+300円×人数



はじめの一步

ヒバクシャの生きる姿を伝える写真にぜひ触れて、
ヒバクシャの思いを世界に伝える力になってください。

ミニ世界ヒバクシャ展

6人の写真家が撮影した世界ヒバクシャ展の写真の一部(パウチ加工、A3ノビサイズ15枚)による写真展をカフェやお店などで開催しませんか。少ない枚数でも、核被害の広がりを実感してもらえます。
☆料金 10日間15枚貸出 7万円
サムライMAP8枚=4000円=付。往復の送料はご負担ください。

写真鑑賞&トーク

すぐに写真展を開催するのは難しいけれど、まず写真を見てみたいという方のために、世界ヒバクシャ展代表の森下美歩がプロジェクターまたは紙芝居方式で写真をお見せしながらエピソードを交えてご説明します。分かりやすいと評判です。学校での出張授業も歓迎です。

☆写真代+講演料(90分程度)
4万円+500円×人数+交通費 学生割引あり
写真家の講演もできます。詳細はお問い合わせください。

ヒバクシャの思いを伝えたい

2012年のリオ+20で出会ったブラジル移民の被爆者、益小原さんが、ブラジルで開催されたウラン映画祭で、サムライMAPを紹介してくださいました(写真、右から2人目)。ブラジルに渡った被爆者の皆さんは、被爆体験をブラジル国民に伝えるために、今も活発に活動されています。私たちも、写真を通じてこうした被爆者の皆さんの思いを伝えるために、多くの機会を作っていきたいと思っています。

※大規模な写真展の開催については、世界ヒバクシャ展WEBの「写真の展示・貸出」のページで、写真展開催のご案内2014年版のPDFファイルをダウンロードしてご覧いただけます。



零核時代に2万人近く来場



若い世代の共感呼ぶ

二〇一三年十一月二十三日から十二月二日まで、台湾の台北で開催された2013年零核時代世界ヒバクシャ展の写真が展示されました。会場は、若者に人気のスポット、松山文化創意園區にある日本の統治時代にたばこ工場だったレトロな建物。写真家、太田康介さんの福島に遺された動物たちの写真展や反原発ポスター展、様々な映画上映、コスプレコンテストなどが一緒にあったイベント

で、来場者は二万人近くに及びました。来場者の大半は十代後半から三十代の若い人たちでした。日本製の台湾第四原発(日の丸原発)の稼働を阻止するために、台湾では大規模な反対運動が続いており、若い人たちの核への関心の高さを実感しました。零核時代は、台湾緑色公民行動連盟(GCA)などの主催。二〇一二年に国連持続可能な開発会議(リオ+20)

この言葉を覚えていました。写真を見ながらメモをしたり、感想を書いたり、みんな熱心に鑑賞していました。

サムライMAPを武器に核被害の現場に切り込む現代のサムライとも言える世界ヒバクシャ展の六人の写真家。そこから名付けた「サムライMAP」世界の核被害」をこのほど増刷しました。

世界の面では、核実験、原発事故、ウラン鉱山など核被害の場所をマークと写真家の写真で紹介しています。日本の面では、福島原発事故による汚染やチェルノブイリとの比較、日本の原発に関する情報などを取り上げています。そして、地球上にちかちか「核」をみながらさささと片付けちゃおうと、地球大そうじ大作戦！を呼びかけています。

ご希望の方には、五百円(送料別)で販売しています。販売に協力してください。グループ、個人も募集中です。



台湾の希望の光―二万人近くを集めた零核時代のスタッフやボランティア

通訳のリナさんとボランティアの小毛さん

にぎわう世界ヒバクシャ展会場

光るこれなんだ？
見えない放射能を撮ったよ

スリッパの写真を掲げる森住卓さん

零核時代での展示でひととき注目を集めたのが、光るスリッパの写真です。写真家の森住卓さんが、福島県浪江町の警戒区域に落ちていたスリッパを特殊な方法で撮影し、放射能汚染の実態を視覚化した写真で、放射線が輝いて見えます。海外での一般公開は台湾が初めてでした。

日本人女性がバリ島でミニ写真展

サムライMAPを作ってくれたデザイナーの高山ときなさん(写真家)が、滞在中のインドネシア・バリ島で活躍しています。二〇一三年十二月には、レストランを経営する日本人女性に呼びかけ、世界ヒバクシャ展のミニ写真展を開催しました。

サムライMAP

サムライMAPを武器に核被害の現場に切り込む現代のサムライとも言える世界ヒバクシャ展の六人の写真家。そこから名付けた「サムライMAP」世界の核被害」をこのほど増刷しました。

みんなびっくりに世界の核被害
Let's clean up the Earth together!

ボランティア 求む

2013年秋の台湾での写真展開催に合わせて、サムライMAP台湾語版を発行し、即売の大人気でした。今後も各国語版を発行していく予定で、翻訳、制作などのボランティアを募集中です。事務局の運営、寄付集めなどのボランティアも歓迎です。
mail hibakushaten@gmail.com

子どもたちもヒバクシャ学ぶ

零核時代の会場には、台北市内の小学生たちも課外授業で訪れました。先生の声に続いて「ヒバクシャ」「ヒバクシャ」とみんなで繰り返して、心に残っていました。

子どもたちの学びの場

森下一徹が広島、長崎の被爆者を撮り始めたのは、今からちょうど五十年前の夏でした。以来、四十年以上にわたって被爆者の写真を撮り続け、一方、世界中のヒバクシャの姿を伝えたいと、二〇一二年にNPO法人世界ヒバクシャ展を設立し、六人の日本人写真家による写真展を開催してきました。

病気の療養中のためゆっくりとした調のトークでしたが、被爆者との長い付き合いを振り返り、どんな思いで写真を撮ってきたかを様々なエピソードとともに紹介し、世界ヒバクシャ展を始めた理由を語りました。



写真の解説をするボランティア

台湾での宿泊を世話していただいた台湾長老教会の鄭君平さん(右)と、台湾で撮影されたおそろいのNo Nukes Tシャツを着た森下一徹・美歩親子。

親子の日ホームページ
http://www.oyako.org/jp/oyakonohi/

被爆者との様々なエピソード語る
森下一徹 平和に向けて、再稼働

親子の日におそろいのNo Nukes Tシャツで

親子の日を提唱している写真家のブルース・オズボーンさんが撮影した、おそろいのNo Nukes Tシャツを着た森下一徹・美歩親子。

平和はまず親子から(*^-^*)
親子の日ホームページ
http://www.oyako.org/jp/oyakonohi/

京都をはじめ全国各地の皆さん、ありがとうございました。



ブラフマン
BRAHMAN Live

写真展に長い列

幕張メッセ



ライブの前に写真見学の長い列

ブラフマンのTOSHI-LOWさん(右から2人目)とフォーザプロダの柳田宏輔さん(左端)

次はキミの学校で！

二〇一三年六月八日には、千葉・幕張メッセに、一万人を集めて開かれた、人気ロックグループ、ブラフマンのライブ会場で写真展を開催しました。会場には順番待ちの列が、311のイベントで二年



マイライフの写真も一緒に展示された和光高校での写真展



写真展の打ち合わせに来た和光高校の生徒たち



獨協大学の学生たち
獨協大学の写真展



子どもの未来をひらく川崎集会以写真を紹介する和光高校の女子高生

世界ヒバクシャ展の写真に共感した若い世代が、日本でも活躍し始めています。昨年度は、左の写真のよう

に、この写真を日本中の未来を担う若い世代に見てもらいたい、というのが私たちの夢です。ぜひ、あなたの学校でも、この写真展を開催してみませんか？

展スタッフによる写真紹介の出張授業や平和学会での写真展でも若者の関心の高さを感しました。



日本平和学会で写真展!! 大阪大学で



大学の授業でも写真を紹介。◎は立命館大学、①は大正大学



イベントで写真展しませんか？

コンサートやイベントの会場などで、あなたも写真展を開催しませんか？ お問い合わせは世界ヒバクシャ展事務局 080-3558-3369 (安在)へ。



続けて世界ヒバクシャ展を紹介してくれたフォーザプロダの柳田宏輔さんの紹介で実現しました。

Yes Peace!

戦争やめよう！ 賛成 (Yes) !
原爆なくそう！ 賛成 (Yes) !
地球をきれいにしよう！ 賛成 (Yes) !
生きものを守ろう！ 賛成 (Yes) !
小遣い上げてよ！ 賛成 (Yes) ! (^_^)!

Yes という言葉には、人を前向きにし、人をつなげる不思議な力があります。

世界中で紛争が起こっている今こそ、平和にYes!

これからのGlobal Citizen (地球市民) の合言葉は、Yes Peace!

この言葉を使って、様々なイベントやアクションで、みんなが自由に平和な社会を目指す気持ち

や方法表現して、インターネットや地域の「回覧板」などでシェアし、Yes Peace! のメッセージを広げられたら...

歌って踊って、みんなが心から平和な時を楽しみ、平和を愛する心を育てることができたら、きっと、この世界に変化が生まれるはず。

そんな気持ちで、Yes Peace! Yes Peace! がこの地球を愛で包み込む。私たちは、戦後・被爆70周年を機に、Yes Peace! のキャンペーンを平和を愛する世界中の人たちに広げていきます。

「No」と叫ぶだけでなく、その先にどんな未来を描きたいのか、何に対して「Yes」というのか、みんな考えていきましょう。



手づくりカードで世界と愛のメッセージ交流

Earth Day



アースデイ名古屋ではテレビ塔で写真展。ロシアなどからの留学生によるライブ&トークも行いました



アースデイ東京で写真展示&サムライMAPのPR

各地での写真展



東京・カトリック下井草教会ではシスターたちも写真鑑賞



岩波ホール原田さん◎と矢本さん◎。被爆者の映画に合わせ写真展示



京都府の綾部健康まつりで写真展



埼玉県小川町のさようなら原爆@おがわまち行進の集いで写真紹介



はあ〜 どうしたの? 寄付がたりニヤ〜!!



心配するな! なんとかなる



ほくが、つらくなるから



果報は寝て待てニヤン



ニヤン

新理事にナマケモノ倶楽部の小澤さんと写真家の片岡さん

6月に開催されたNPO法人世界ヒバクシャ展の2013年度総会で、ナマケモノ倶楽部の小澤陽祐さんと写真家の片岡和志さんが新理事に選ばれました。若い世代の代表として、Yes Peace! のプロジェクトなどにかかわっていただきます。



小澤陽祐さん



片岡和志さん

ご寄付のお願い

ご寄付やサムライMAP (世界の核被害) の購入で、この新聞でご紹介したような活動を支援してください。

ご寄付のお振込先
郵便振替口座 00170-5-127199
NPO法人世界ヒバクシャ展
みずほ銀行 新宿南口支店 普通1566323
特定非営利活動法人世界ヒバクシャ展

ご寄付は
こちらへ
忠cat
スマイラー

会員ぼしゅう

正会員 年会費10,000円 賛助会員 年会費一口 3,000円

NPO法人世界ヒバクシャ展
〒152-0031 東京都目黒区中根1-6-7-603
Tel/Fax 03-3723-1004
携帯 080-3558-3369 (安在)

編集後記 森下一徹の母で、天国に行ってもきっと応援していただいていると思います。こんな時代だからこそ、戦後・被爆70周年の2015年に向けて一生懸命やります。皆さんも応援よろしく! Yes Peace!